

草津市重層的支援体制整備事業について

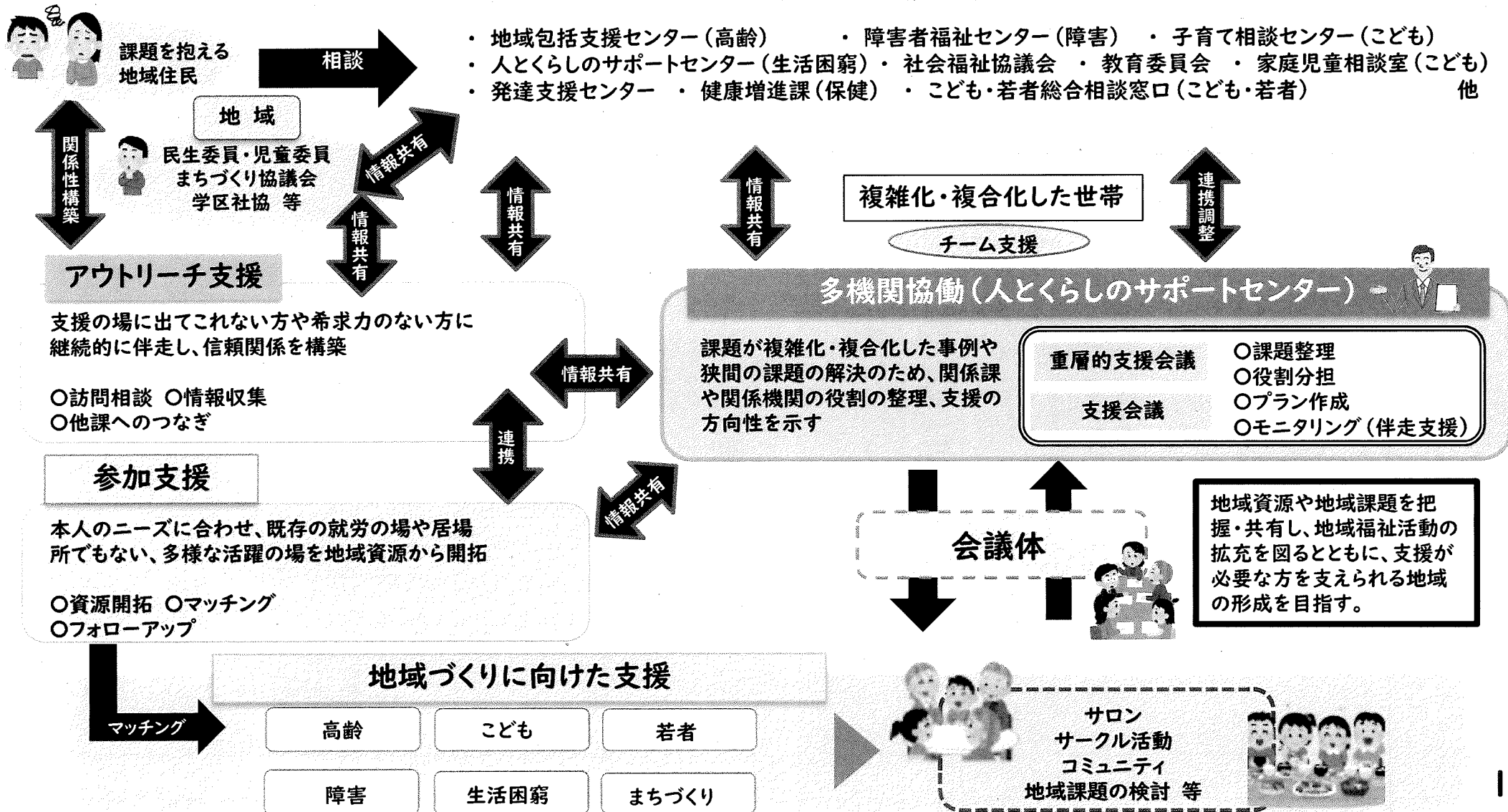
草津市重層的支援体制整備事業について

令和7年6月2日

草津市地域福祉推進市民委員会 資料1

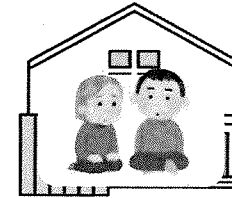
既存の取組や支援を活かして、相談支援、参加支援（社会とのつながりや参加の支援）、地域づくりに向けた支援を一体的に実施し、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制の強化を図ります。

重層的支援体制整備事業（イメージ図）

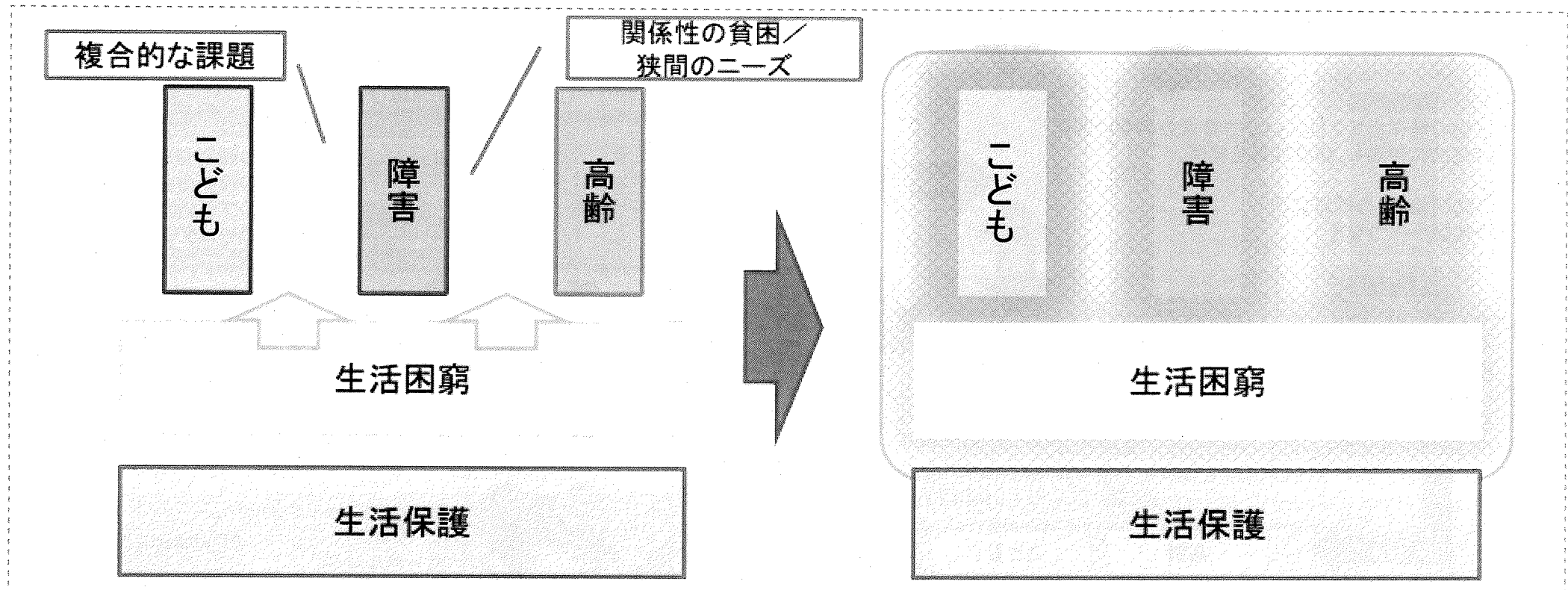


複雑化・複合化した支援ニーズに対応する重なり合いの支援

- 個人や世帯が抱える複雑で多様な課題が顕在化している。
 - ・ 社会的孤立などの関係性の希薄化
 - ・ ダブルケアや 8050問題など複合的な課題
 - ・ 就職氷河期世代等の就職困難など雇用を通じた生活保障の機能低下 等

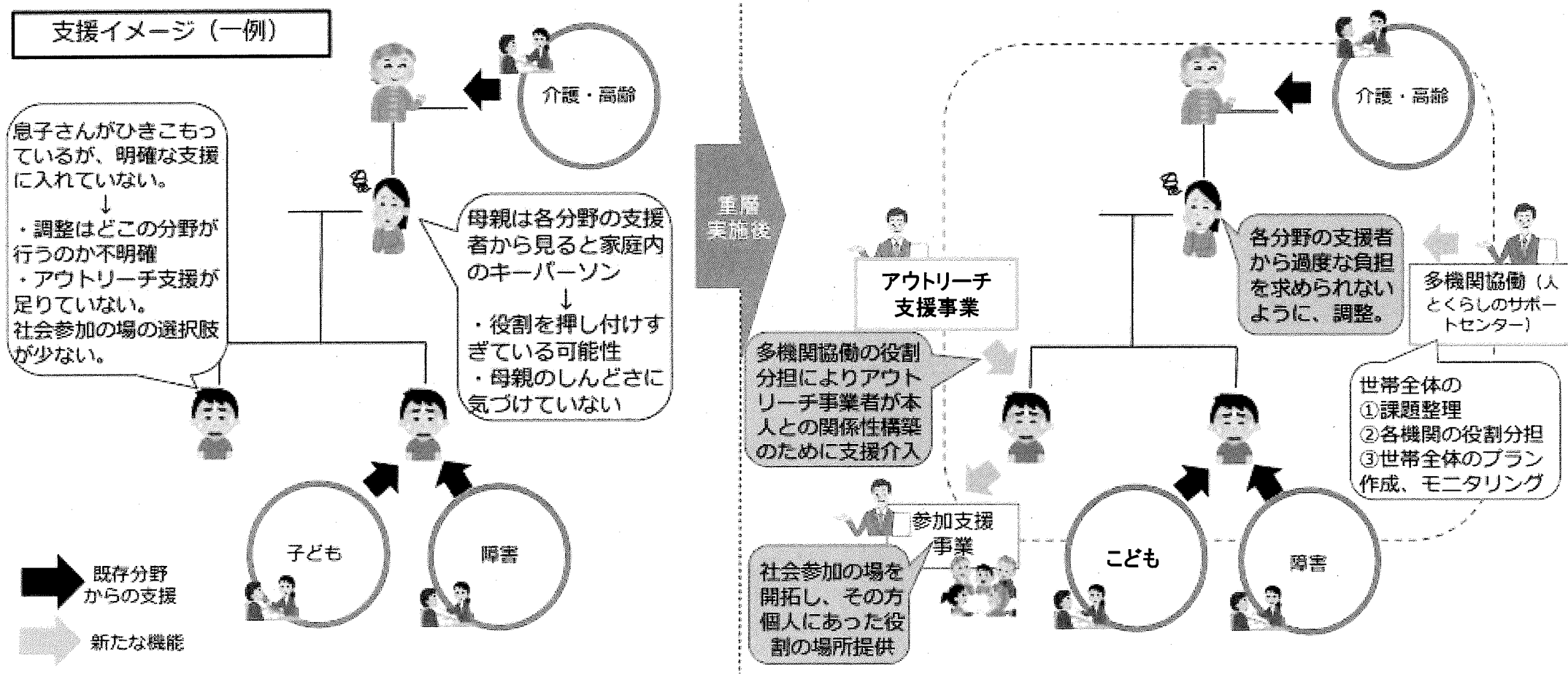


- 既存の支援機関の機能や地域の社会資源を活かしたチームによる連携・協働した支援を行うことにより、複雑化・複合化した課題や制度の狭間のニーズを抱えている世帯の課題解決や伴走支援につなげることができる。



重層的支援体制整備事業により期待される支援の変化（イメージ）

- こども・障害・高齢・生活困窮といった各分野の支援機関による課題解決に向けた支援アプローチだけでなく、地域住民が抱えている「生きづらさ・しんどさ」に、どのように気づき、どのように寄り添うことができるかが重要。
- 連携・協働した世帯支援のチームづくりにより、既存の支援機関の機能や地域の社会資源を活かした支援を行うことによって、複雑化・複合化した課題や制度の狭間のニーズを抱えている世帯の課題解決と伴走支援となる。



重層的支援体制整備事業による支援の実際

※世帯情報等は一部改変しています

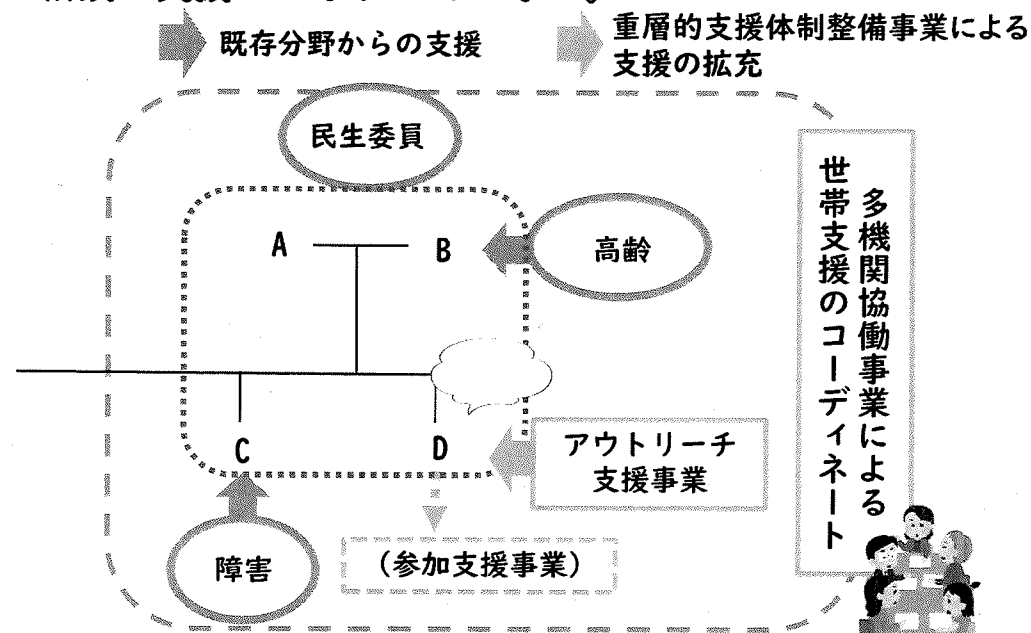
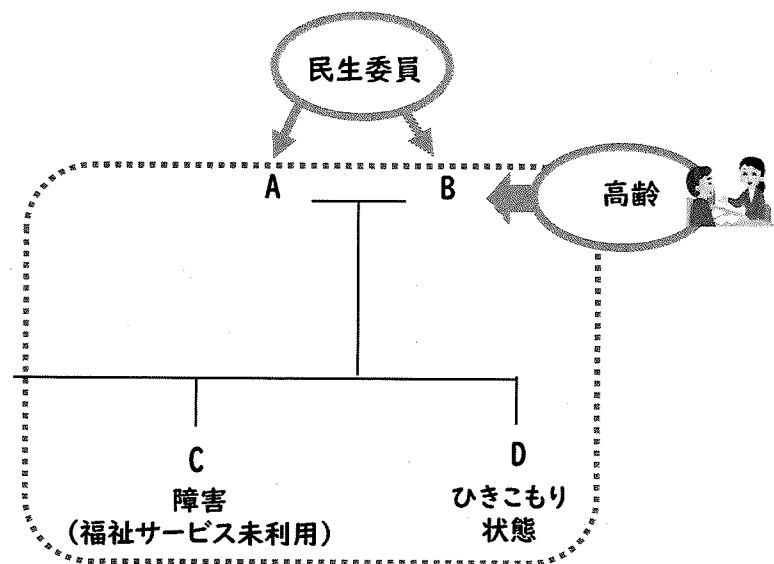
【つなぎ元】

高齢分野

【世帯の概要】

高齢の両親と中高年のひきこもり状態の子の8050問題がある世帯。

援助希求力が乏しく、支援を要する中高年の相談・支援につながない。



援助希求が乏しい世帯へ支援を行う体制が不十分。

- 民生委員による高齢者への訪問時に、ひきこもり状態の子（B）について心配との話を聞きとる。
→相談窓口の情報提供をするが、家族からの相談にはつながらなかった。
- 高齢の親（B）も体調不良が続き、支援者からの訪問介入を約束しても、予定通り訪問できない状態が続いていた。

関係機関による世帯支援のチームづくり（多機関協働）

- 既存支援の継続
- アウトリーチ支援事業によるアプローチ開始
潜在的に困っている、なかなか支援につながりにくい状況のため、継続的に関わり関係の構築を図る支援
- 障害分野によるアプローチ開始
福祉サービスの利用へ（福祉的就労による社会参加）

【 ひきこもり支援 × 関係の構築 ×
社会参加 × 就労 × 地域づくり・見守り 】